

平成28年度事業計画

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1 基本方針

我が国の人口は、平成20年の1億2800万人（平成27年国勢調査1億2700万人）をピークに減少しており、今後も減少が見込まれる。このような人口減少社会の中で成長を実現していくためには、女性や高齢者等が活躍できる機会を確保し、その能力を十分に発揮することが求められている。

シルバー人材センターは、定年退職後等において臨時的かつ短期的又は軽易な就業を希望する高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供する公益的な団体として全国各地で設立され、高齢者の就業機会確保のための基盤として一定の機能を果たしている。しかしながら、度重なる補助金の削減、契約金額や会員数の減少によりシルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しく、安定的な財政・事業運営を図るためには、特に「就業機会の拡大」と「会員の拡大」が重要な課題となっている。さらに、企業の「定年引上げ」や「継続雇用制度の導入」により、新入会員の年齢が高くなっており、新たな課題となっている。

このような状況の中、久喜市シルバー人材センターには、多様な形で高齢者の就業機会を確保するための基盤として大きな役割を果たすことが期待されており、高齢者の就業ニーズの変化や多様化に的確かつスピード感を持って対応して、地域の高齢者に対して就業機会が提供できるよう、従来の請負による就業だけではなく、指揮命令を受けて就業ができる派遣事業の開拓や、職業紹介事業にも積極的に取り組み、「1億総活躍社会」の一端を担う高齢者の活躍の場の創出を推進してまいります。

また、「安全は、全てに優先する」を合言葉に安全就業に取り組み安心・安全なシルバー人材センター事業を推進することにより、地域社会の福祉向上と活性化に大きく貢献し、市民に親しまれ信頼されるシルバー人材センターを目指し、会員・役職員が一丸となり事業を展開していくことを基本方針といたします。

2 事業計画

(1) 就業機会の確保及び提供

発注者や会員のニーズを把握し、就業開拓員等による積極的な就業機会の開拓に取り組めます。

- ①請負事業のほか、派遣事業による就業機会の拡大に積極的に取り組みます。
- ②女性会員向きの就業機会の拡大を図ります。
- ③子育て支援や家事援助等の分野の就業開拓に、積極的に取り組みます。
- ④関係機関との連携を図り、空き家等管理事業に取り組めます。
- ⑤アンケート調査を実施し、発注者ニーズの把握に努めます。
- ⑥役員による発注者への訪問活動を実施し、発注者との情報交換を行います。

- ⑦会員の就業ニーズを把握し、就業に結び付く効果的な営業活動に努めます。
- ⑧就業相談日を月2回設定し、未就業者の解消に努めます。

(2) 適正就業の推進

会員に公平な就業機会を提供するとともに、請負業務における法令を遵守した適正就業の徹底に取り組みます。

- ①就業基準による就業交代を実施し、公平な就業機会の提供を図ります。
- ②「臨・短・軽」を徹底するため、ローテーション就業（ワークシェアリング）やグループ就業を推進します。
- ③公益財団法人いきいき埼玉と連携し、シルバー派遣事業や有料職業紹介事業に取り組みます。

(3) 安全就業の推進

「安全は、全てに優先する」を合言葉に、役職員及び会員が一丸となって安全就業に取り組んで参ります。

- ①安全・適正就業委員会を毎月開催し、安全・適正就業委員が中心となり安全就業の強化推進を図ります。
- ②就業現場の安全巡回パトロールを毎月実施し、安全就業の徹底に努めます。
- ③7月と12月を「安全就業強化月間」と定め、安全意識の高揚に努めます。
- ④安全就業研修や交通安全研修を開催し、安全意識の高揚に努めます。
- ⑤健康管理対策として、特定健康診査（健康診査）の受診を強く奨励し、自主的な健康管理を推進いたします。

(4) 普及啓発活動の推進

地域社会に向けてシルバー人材センター事業の仕組み、事業内容について広く周知し、様々な機会を通じて普及啓発活動を推進します

- ①シルバー人材センター事業のPRリーフレットを活用し、全戸配布を年2回実施します。
- ②市内各地域で開催されるイベントに参加し、シルバー人材センター事業のPR活動を実施します。
- ③「シルバーの日」（10月第3土曜）に、会員の知識・技能・経験を活かした社会貢献活動を実施します。
- ④入会者説明会を各地区で開催し、会員の拡大を図ります。
- ⑤女性中心の入会説明会を実施するなど、女性が入会しやすい方法に取り組みます。
- ⑥地域関係団体と連携を図り、シルバー人材センター事業の普及啓発に取り組みます。

(5) 研修会・講習会の開催

高齢者や会員の就業に必要な技能習得のための講習会、研修会を積極的に開催します。

- ①子育て支援や家事援助で就業するための、基本的な知識や技術を習得するための講習会を実施します。
- ②会員の資質・技能の向上と後継者育成のための各種講習会や研修会を実施します。
- ③シルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」に基づき会員の意識の向上のための会員研修を実施します。

(6) 組織運営体制の充実

公益社団法人としての適正な運営と円滑な事業推進を図るため、組織体制の充実と職員の資質向上に努めます。

- ①役員の改選に伴い、部会・委員会の活性化と機能強化を図ります。
- ②女性部会を立ち上げ、女性会員のネットワーク強化を図ります。
- ③役職員の資質向上のため、各種研修会等に積極的に参加します。
- ④事務処理の効率化に努め、事務局機能の強化を図ります。
- ⑤補助金等の削減による厳しい財政状況において、効率的かつ効果的な事業運営に努め経費削減に取り組みます。
- ⑥特別会員制度や、会員相互の親睦を図るための組織活動について検討します。